

・2月26日(金)、令和3年第1回定例会で施政方針を申し述べました。

新年度からの新たなまちづくりの方針「第5次清水町総合計画」に基づき、将来都市像「くらしやすさで未来をともにつくるまち・清水町」の実現に向けた事業を展開してまいります。未来志向のまちづくりのため、若年層の人口流出抑制等を目的に、新幹線通学費の一部貸与制度の創設や、“ふじのくに”フロンティアに認定された「笑街健幸のまち」推進エリアの設定、協働の地域づくり推進事業に着手し、自主的にまちづくりに取り組む団体の活動を公認して、交流の場の創出や情報発信に取り組んでまいります。コロナ禍で大幅な減収が見込まれ、極めて厳しい財政状況ではありますが、今こそ町民一丸となって難局を乗り越え前進してまいります。



・2月24日(水)、第3回清水町総合教育会議を開催しました。

今回は、「第2期清水町教育大綱」について、学校運営協議会委員よりご指摘をいただいた項目に関して、改めて意見交換を行いました。「目指す子供像」の「自分のことと同じように相手のことを大切にできる」という表現や、基本目標の「実体験を通して学ぶ」という表現に対し、文言の修正に関するご指摘をいただきました。教育委員の皆様からは、「自己肯定感が高まることから相手に対する思いやりが生まれることや、今後5年間の教育大綱であるため長いスパンで考え、五感を使い実体験することが大切である」というご意見から、原案のままの表現とすることといたしました。また、来年度の予算案について、新幹線通学費の一部を貸与する制度の創設などの概要をご説明いたしました。活発な意見交換をありがとうございました。



・2月24日(水)、静岡県東部地区JA合併予備契約調印式(於:沼津リバーサイドホテル)に出席しました。  
今後、各JAが3月に開催する臨時総代会を経て、2022年4月1日から「富士伊豆農業協同組合」が誕生します。  
組合員数や貯金残高などは県内最大となり、全国でも最大級の規模になる見込みです。農業生産者の高齢化  
や担い手不足などの課題解決に向け、新たな経営基盤の強化を図るための対策に取り組まれます。



・2月24日(水)、清水町役場中庭マルシェでランチを購入しました。  
新型コロナウイルスの影響を受けた町内の事業者を応援するため、清水町商工会が主催する中庭マルシェの  
第2弾が今週からスタートしました。1日につき最大3店舗の飲食店が出店します。日替わりで、お弁当だけでなく  
手作りパンやスイーツなどもあります。新しい食との出会いが生まれ、町民の皆様のにぎわいの場となることを  
期待しております。



・2月23日(火・祝)、「富士山の日」フェスタに本町の渡邊町議会議員、山下教育長とともに出席しました。

静岡、山梨両県の主催により開催され、本県の川勝知事は、県産品を相互に購入し合う「バイ・ふじのくに」運動の広がりについて紹介され、山梨県の長崎知事は、「富士山登山鉄道構想」について述べられました。昨夏は、新型コロナウイルスの影響で、史上初の登山道全面閉鎖を余儀なくされましたが、両県ではコロナ禍という逆境をチャンスに変え、地域経済や観光交流の活性化につながる取り組みを行っています。本町も柿田川をはじめとする自然環境を守り、その魅力を情報発信するとともに、霊峰富士の普遍的価値を継承する活動にも寄与してまいります。



・2月22日(月)、駿東地区交通災害共済組合議会2月定例会(於:裾野市民文化センター)に本町の渡邊町議会議員とくらし安全課長とともに出席しました。

本日の定例議会では、規約の一部変更に関する専決処分の承認と、監査委員の選任、令和3年度予算の2議案について審議を行い、すべて可決しました。駿東地区交通災害共済は、駿東地区の皆様からの掛金を交通事故のお見舞金としてお渡しする相互扶助制度です。申込用紙は、広報しみず2月1日号とともに、自治会を通じて全家庭に配布しております。ぜひ、ご家族でご加入ください。詳細は、役場くらし安全課(981-8217)までお問い合わせください。





・2月22日(月)、清水町駅伝チームスポーツ特別功労賞授与式を開催しました。

昨年の第21回静岡県市町対抗駅伝競走大会において、町の部大会新記録で連覇という好成績を収められましたので、改めて町の表彰条例に基づき、スポーツ特別功労賞と記念品のストップウォッチを贈らせていただきました。ご同席いただいたNPO法人清水町体育協会の立川会長から、第1回大会から22年間ご指導いただいている朝倉監督への感謝と、「市町駅伝は世代をつなぐ大会であり、今、選手として育成している子どもたちが大人になり、未来に向け清水町チームの選手の輪がますます堅固なものになっていくことを願っている」との励ましのお言葉をいただきました。



・2月20日(土)、NPO法人清水町体育協会創立50周年記念式典に出席しました。

体育協会様には、日ごろからわが町のスポーツの振興や健康づくり、さらには人々の交流による連帯感の醸成に努めていただいていることに感謝を申し上げます。また、多年にわたり体育協会を支え、ご尽力いただいた秋元稔様、菊池和満様、水野正隆様、木幡憲司様に感謝状が贈呈されました。今日の体育協会を築かれた4人の皆様には、心から敬意を表するとともに、感謝を申し上げます。町では、来年度から新たにスタートする第5次清水町総合計画の基本目標を「誰もがやすらぎと生きがいを感じる笑街健幸のまちへ」として、今後も「笑街健幸都市」の実現に向けた健康づくりを推進してまいりますので、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。



・2月18日(木)、「十人十色富士山展」を見学しました。

2月23日の「富士山の日」に合わせ開催している企画展で、町内の子供たちの作品約420点、霊峰富士写真倶楽部の作品約60点、パステルアート教室の作品約20点を展示しています。世界遺産富士山への理解と関心を深め、その普遍的価値を後世に継承していくため企画しました。子供から大人まで各々が自分にとって「最も美しい富士山」を思い描き、挑んだ力作が並んでいました。写真倶楽部代表の渡部繁雄様や会員の方から、撮影のポイントや写真創作への熱い思いを伺い、唯一無二の存在である霊峰富士の新たな魅力を感じることができました。ぜひ、多くの皆様のご来場をお待ちしております。

※「十人十色富士山展」は、清水町地域交流センターで2月28日(日)まで開催しております。



・2月18日(木)、明日19日から一般公開する「環境イベント SDGsアクアリウム」を見学しました。

近年、プラスチックごみなどによる海洋汚染が深刻化し、私たちの身近な駿河湾の深海生物が苦しんでいることを多くの皆様に知っていただくために、清水町複合施設 まほろば館に海底300メートルをイメージしたアクアリウムを展示しました。近海の魚たちと実物のプラスチック漂流物が同じ水槽で展示され、水族館では感じることのできない身近な海の状況を学べる空間です。今、世界が注目するSDGs(持続可能な開発目標)の「14 海の豊かさを守ろう」「15 陸の豊かさも守ろう」「17 パートナーシップで目標を達成しよう」の3つの目標とともに、地球規模の環境問題を考えるきっかけとなるよう、ぜひ多くの皆様にご覧いただきたいと存じます。

※「SDGsアクアリウム」は、清水町複合施設 まほろば館で2月19日(金)～3月7日(日)まで開催しております。



・2月17日(水)、定例区長会に出席しました。

今回は、本年度最後の定例区長会となることから、各課から新年度に向けてのお願いや、現在、町の最優先事業であります新型コロナウイルスワクチン接種についてご説明をいたしました。全国的には今日17日(水)から医療従事者へのワクチンの接種が始まり、町民の皆様も期待と不安を感じる日々であるかと存じます。町では国からの情報に基づき、迅速に対応してまいります。16日現在、町内では新型コロナウイルスの陽性者が累計45人であり、いわゆる第3波の感染状況は落ち着いてまいりましたが、10都府県では緊急事態宣言が今なお続いておりますので、町民の皆様には引き続き感染対策に努めていただくようお願い申し上げます。



・2月16日(火)、清水町内郵便局様及び三島郵便局様と包括連携協定を締結しました。

日本郵便(株)様とは、これまでも地域の見守り活動や道路の損傷、不法投棄の情報提供等について、町の事業に御協力いただいておりますが、このたびは、安全安心な暮らしの実現や地域経済の活性化に関すること、未来を担う子どもの育成に関する事など、より一層幅広い分野でのご協力と連携を進める協定となり、大変心強く感じております。郵便局長の皆様から、郵便局の空きスペースの活用や町内各所に点在するポストへの災害避難所等の掲示、さらには、地域ブランドの開発や全国への情報発信等、地域産業の振興支援にわたるご提案もいただきました。今後、事業の共催などにより相互の発展につながることを期待しております。





・2月15日(月)、清水町男女共同参画推進委員会委嘱式に出席しました。

静岡大学名誉教授の大村知子先生をはじめ、公募による町民代表や町校長会、区長会、商工会から参画いただいた委員の皆様で構成される本委員会は、性別にとられず、一人一人がその個性や能力を十分に発揮できる社会の実現を目指し、町民の皆様や行政が何をすべきかをご検討いただくものであります。現在の清水町男女共同参画計画は令和3年度で期間満了となるため、新たな計画の策定に向け、現計画策定時にはなかったLGBT(性的少数者)やSDGs(持続可能な開発目標)などの多様な概念を積極的に取り入れた議論を展開していただきたいと存じます。



・2月15日(月)、JAなんすん様から町内の3小学校全児童1,905人に寿太郎みかんとぬまづ茶をいただきました。農林水産省の基準で高い品質や評価を獲得している寿太郎みかんやぬまづ茶は、子どもたちが毎年楽しみにしております。食育の一環として地元の特産品を給食等で味わうことで、地産地消を学ぶ貴重な機会となっており、静岡県のすばらしさを実感していることと存じます。本日は、誠にありがとうございました。



・2月15日(月)、清水町ICT戦略本部会議に出席しました。

インターネットをはじめとしたICTの活用が加速する中で、行政においても町民の皆様の利便性の向上や行政の簡素・効率化、透明性の向上を図るため、電子自治体への転換が求められております。本日は、現在、町が利用しているしずおか電子申請サービスからの移行について検討し、今後も各種申請書の提出など電子申請で行っているサービスについて、更に個人番号制度などの導入により住民サービスの向上、業務の迅速化、コストの削減等につながるよう研究するための方向性を議論しました。また、電子自治体の課題となる個人情報保護・セキュリティの確保についても研究を進めてまいります。



・2月2日(火)、清水町商工会の役員の皆様から新型コロナウイルスに関連する町内商工業者支援対策についての要望書を受け取りました。

要望内容は、静岡県が市町に対し新型コロナ関連の経済対策費用の半額を負担すると表明したことから、本町においても経営が悪化している飲食店や観光業等を対象にした財政支援を要請するものであります。町内の事業者の皆様方が、売上げ減少により経営に甚大な影響を受けていることは、十分承知しております。国の第3次補正予算でコロナ対応の地方創生臨時交付金の追加支給が決まりましたので、町として優先順位、逼迫状況等を見極め、困窮している皆様に直接必要な支援が届くよう対応してまいります。





・2月1日(月)、池谷千恵子様日本画受贈式を開催しました。

先月、清水町地域交流センターで開催されていた「池谷千恵子日本画展」の成功を記念して、池谷様から代表作「年寿」「宵待」の2点を町へ寄贈していただきました。池谷様は、現在、本町や沼津市で日本画教室を指導されており「もっと日本画の描き手人口を増やして親しみやすいものにしたい。人材を育てたい」と述べられました。とかく本町は芸術文化のイメージが薄いと思われがちですが、こんなに素晴らしい作品を描かれる方がいらっしゃることを今回ご紹介できうれしく思います。社会教育課では、コロナ禍で大規模なイベントは開催できませんが、これからも多方面で活躍されている町内在住の芸術家を発掘し、町民の皆様にご紹介していきたいと考えております。



・2月1日(月)、連合沼駿三田地域協議会様からの自治体への要望に対し、回答をいたしました。同団体から提出された要望内容は、勤労者の雇用・労働政策や社会保障政策のみならず、ご家族の皆様などに関連する児童虐待防止や子どもの貧困政策、GIGAスクール構想の実現に向けたICT政策、高齢者政策等多岐にわたるもので、町ではできる限り努力をし、真摯に対応してまいります。杉本議長から「新型コロナウイルス感染拡大の影響により、勤労者を取り巻く環境は、依然として厳しい状況に置かれており、今後も行政と協力しながら、経済的福祉向上の活動を担っていきたい」とのご意見をいただきました。

